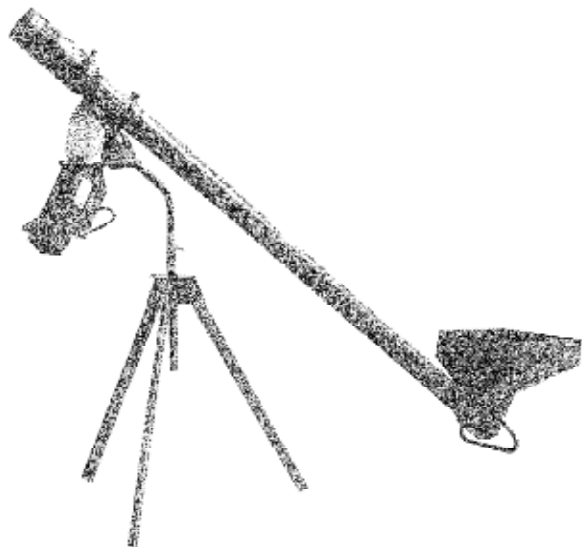


取扱説明書

IRINO

らくあげ

UP-30E/F/G



正しく安全に効率の良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

らくあげ を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はらくあげの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。
その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買上げまたはお近くの特約店・販売店にご相談ください。
- ▲印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。
 - ▲**危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 - ▲**警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 - ▲**注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。
- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

もくじ

もくじ	2
安全に作業をするために	3
サービスと保証について	4
仕様について	5
本製品の使用目的について	5
各部のなまえ	6
安全銘板の貼り付け位置	7
お使いになる前に	8～11
梱包部品の組立と取り付けのしかた	
脚・オートホッパー・入口ジョーグ・本体・コードの接続	
作業のしかた	12～13
作業のしかた	12
オートホッパーの作動確認	13
連続運転	13
作業後の手入れについて	14
1. 作業後の手入れ	
2. 長時間使用しない場合の手入れ	
定期の点検・調整について	14
不調診断	15

安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目

▲警告 こんなときは、運転しない！

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、作業に集中しない。
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18才未満の人

【守らないと】

思わぬ事故の原因になります。



▲警告 点検・整備時には必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜いてから行ってください。

【行わないと】

回動部に手や服が巻き込まれ、思わぬ事故を起こします。



▲注意 必ず作業前の点検をする

機械を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は直ちに整備してから作業を始めてください。

また、作業終了時も点検を行って異常がないかチェックしてください。



▲注意 運転中のラセンに注意する

運転中は入口ラセンに手を近づけないでください。

【注意しないと】

ラセンに巻き込まれたりして、傷害事故を起こします。



サービスと保証について

保証書について

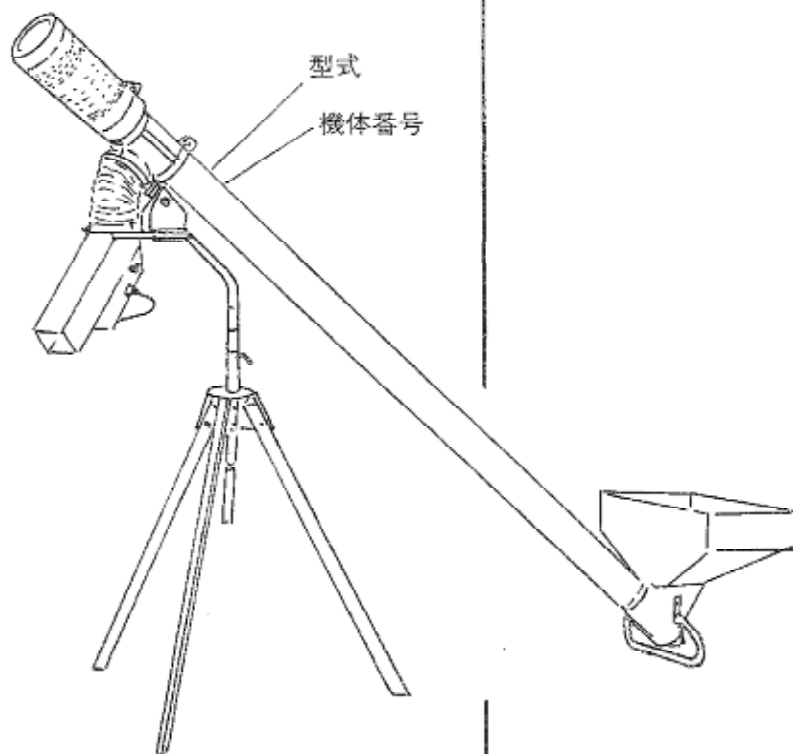
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに15ページの「不調診断」に従って点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社支店までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
(約□□時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。



補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後8年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

仕様について



項目	型式	UP-30E/F/G
全長 (mm)		2,310
有効長 (mm)		1,900
最大能力 (kg/h)		3,000
モーター (W)		単相100W
スクリーン回転数 (rpm)		775 (50Hz) 870 (60Hz)
重量 (kg)		20
据付傾斜角度		0-35°

本製品の使用目的について

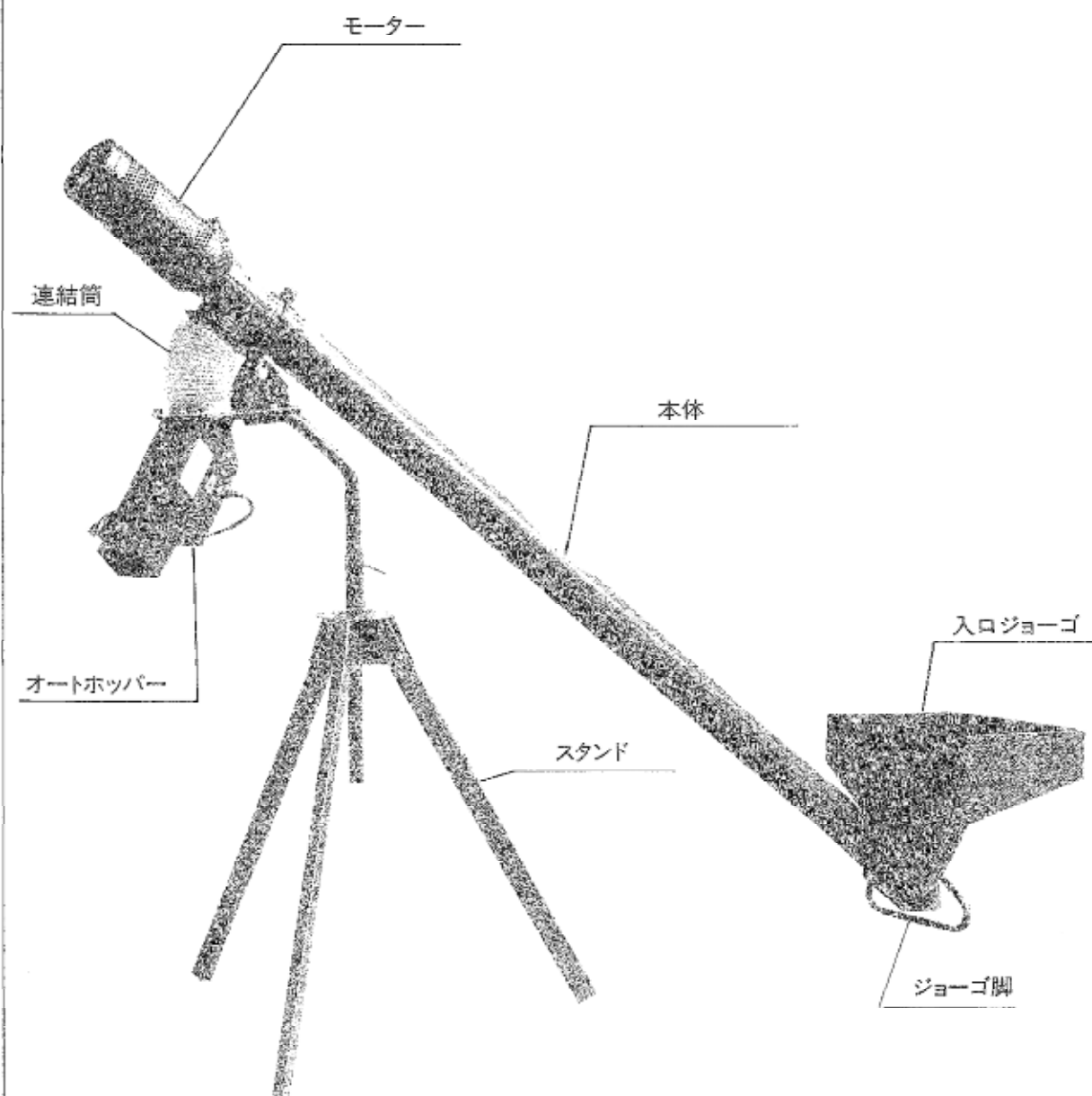
本製品は米麦の搬送用としてご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは決して、しないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

(詳細は、保証書をご覧ください。)

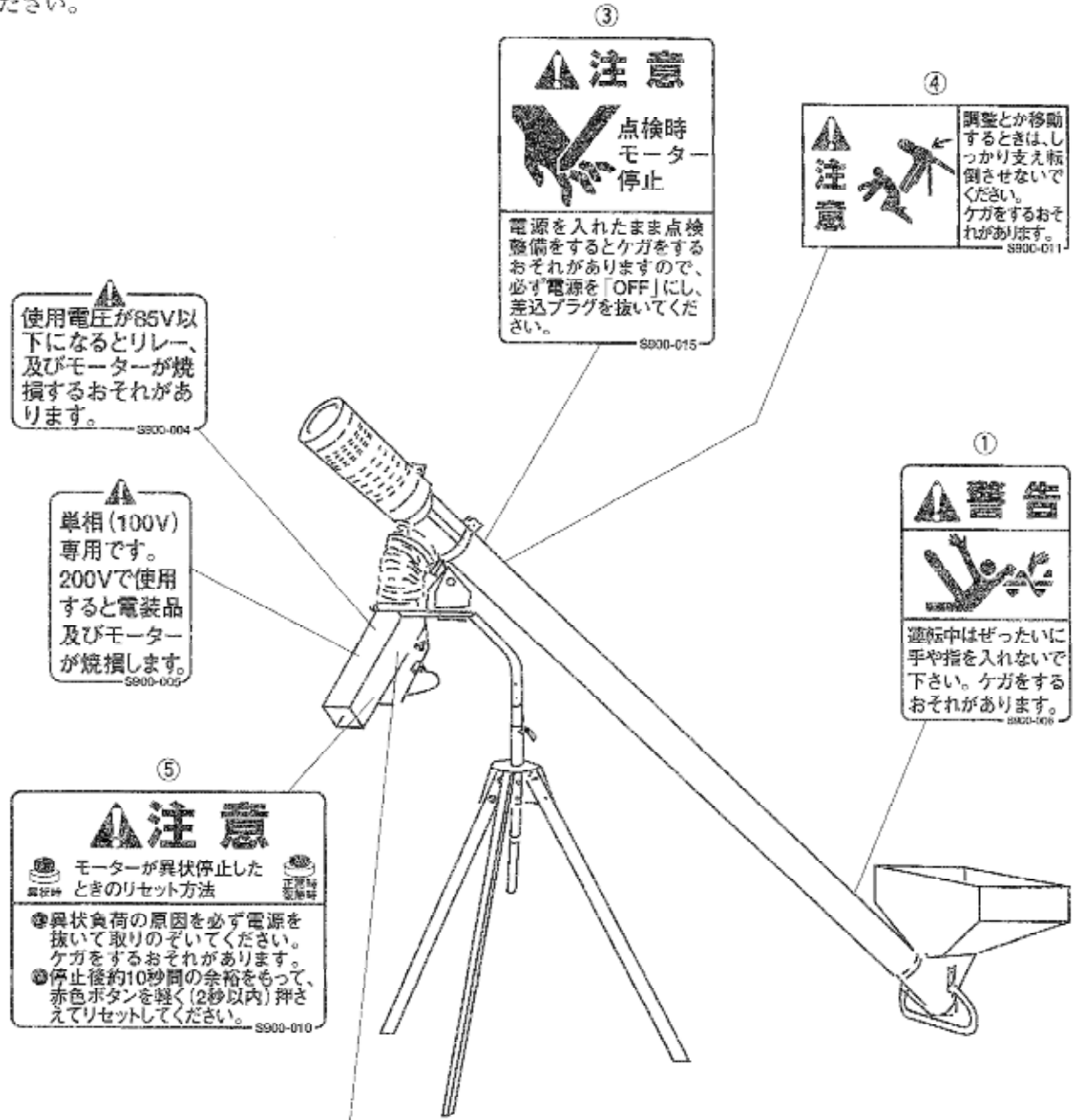
各部のなまえ



安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



注意
使用電圧が85V以下になるとリレー、及びモーターが焼損するおそれがあります。
S900-004

注意
単相(100V)専用です。200Vで使用すると電装品及びモーターが焼損します。
S900-005

注意
モーターが異状停止したときのリセット方法
●異状負荷の原因を必ず電源を抜いて取りのぞいてください。ケガをするおそれがあります。
●停止後約10秒間の余裕をもって、赤色ボタンを軽く(2秒以内)押さえてリセットしてください。
S900-010

注意
取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。
●電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。
●作業を中断したり、終了するときにはかならずスイッチを切り、差込プラグを抜いてください。
S900-009

注意
点検時モーター停止
電源を入れたまま点検整備をするとケガをするおそれがありますので、必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜いてください。
S900-015

注意
調整とか移動するときは、しっかり支え転倒させないでください。ケガをするおそれがあります。
S900-011

警告
運転中は絶対に手や指を入れないで下さい。ケガをするおそれがあります。
S900-008

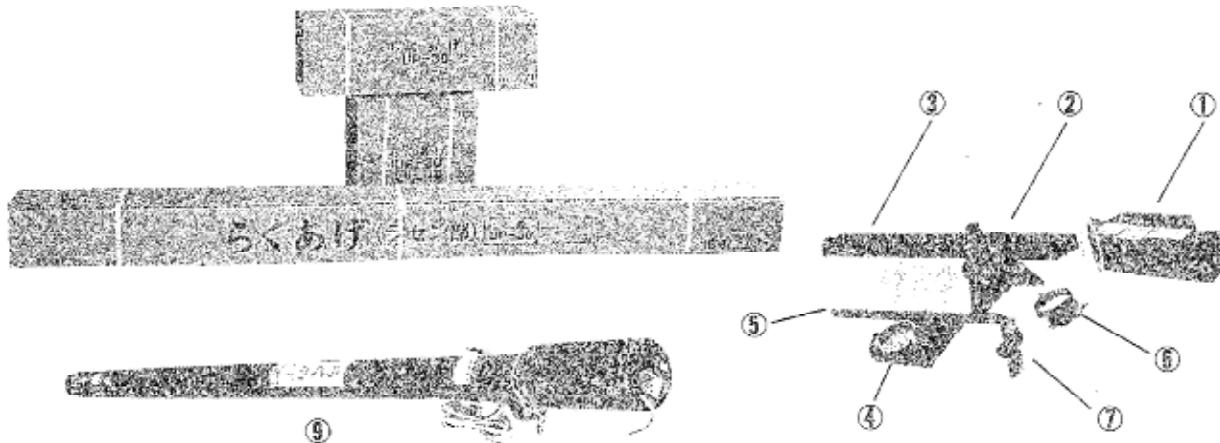
No.	品番	区分
1	S900-008	警告
2	S900-009	注意
3	S900-015	注意
4	S900-011	注意
5	S900-010	注意

お使いになる前に

梱包部品の組立と取り付けのしかた

(1) 梱包はラセン部、ホッパー部、ジョーゴ部の3梱包です。

梱包を解いて部品を確認してください。

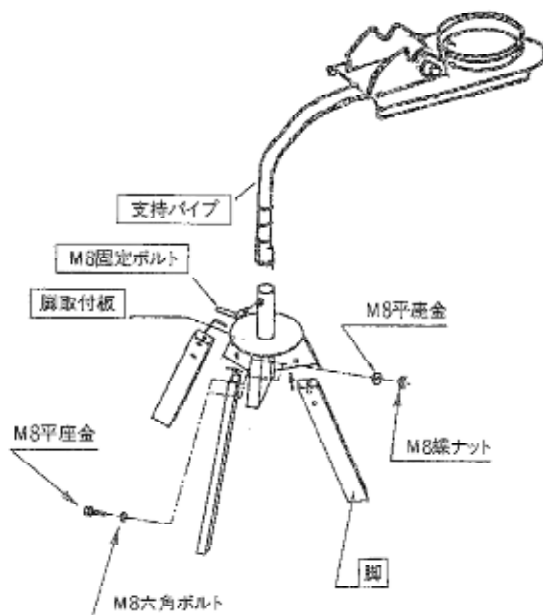
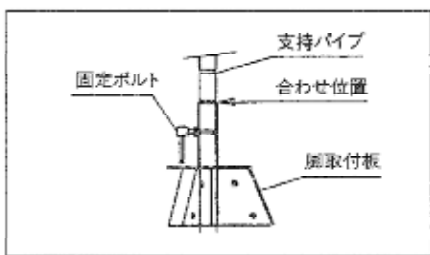


1	オートホッパー	1個
2	脚取付板	1個
3	脚	3本
4	ホッパー取付板	1個
5	連結筒	1個
6	出口取付金具	1個
7	支持パイプ	1本
8	入口ジョーゴセット	1組
9	本体(ラセン部)	1台

(2) 脚の組立

- ・脚取付板に脚3本を取り付けます。
- ・支持パイプを脚取付板のパイプに挿入し固定ボルトで締め付けます。

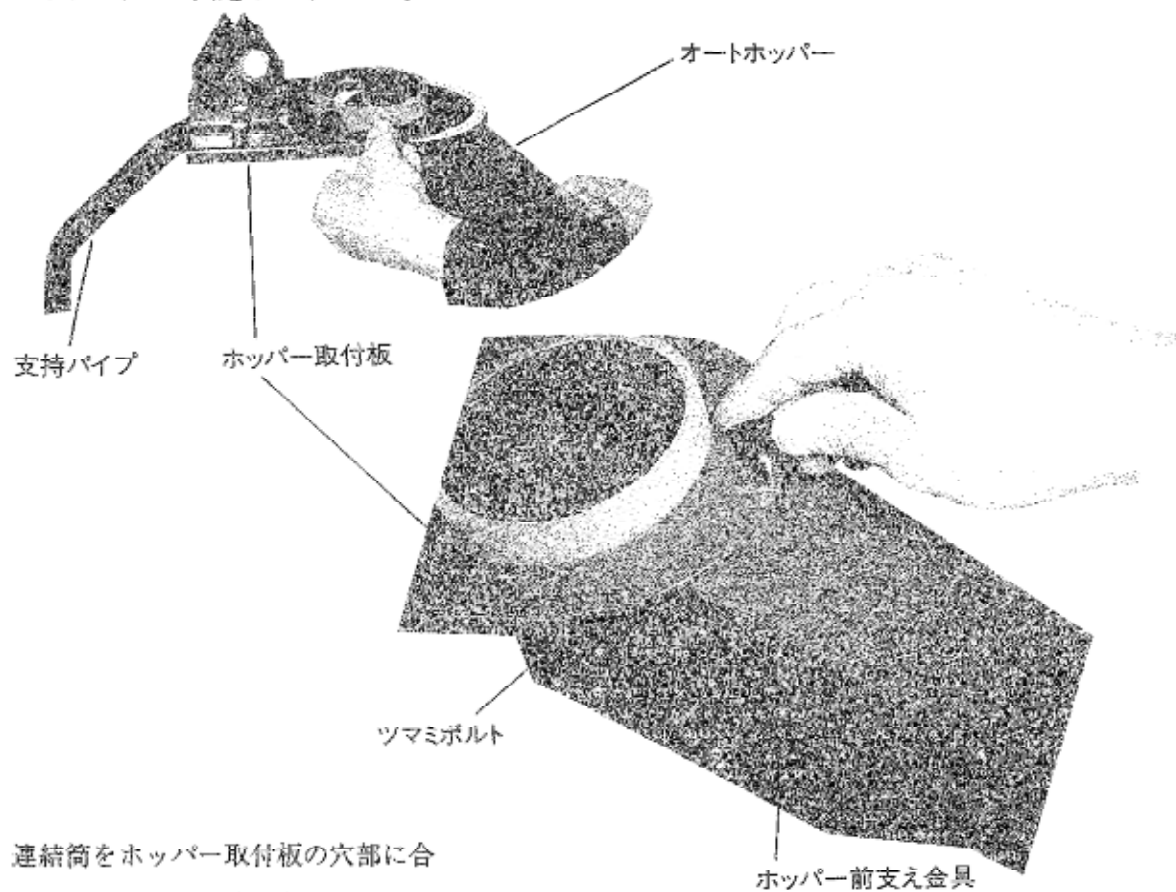
注意・固定ボルトは、溝の部分へ締め付けます。
脚取付板のパイプの先端と支持パイプの溝が合ったところが締め付けの位置となります。



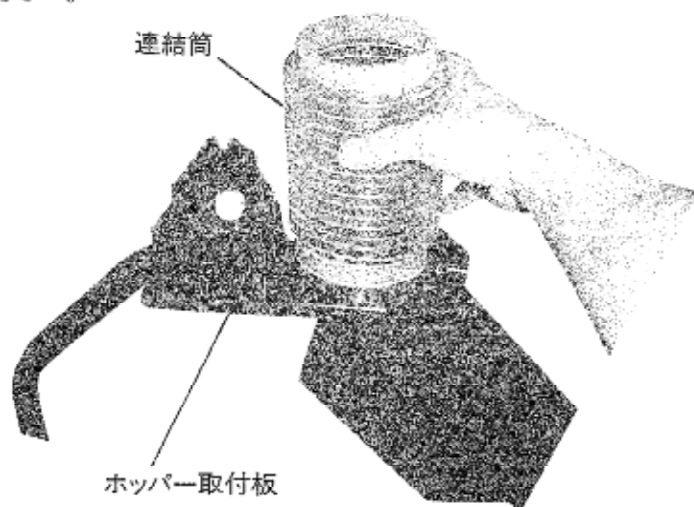
お使いになる前に

(3) オートホッパー

ホッパー取付板のツマミボルト及び、ホッパー前支え金具を外しオートホッパーを、ホッパー取付板に差し込みホッパー前支え金具を取り付けツマミボルトにて固定してください。



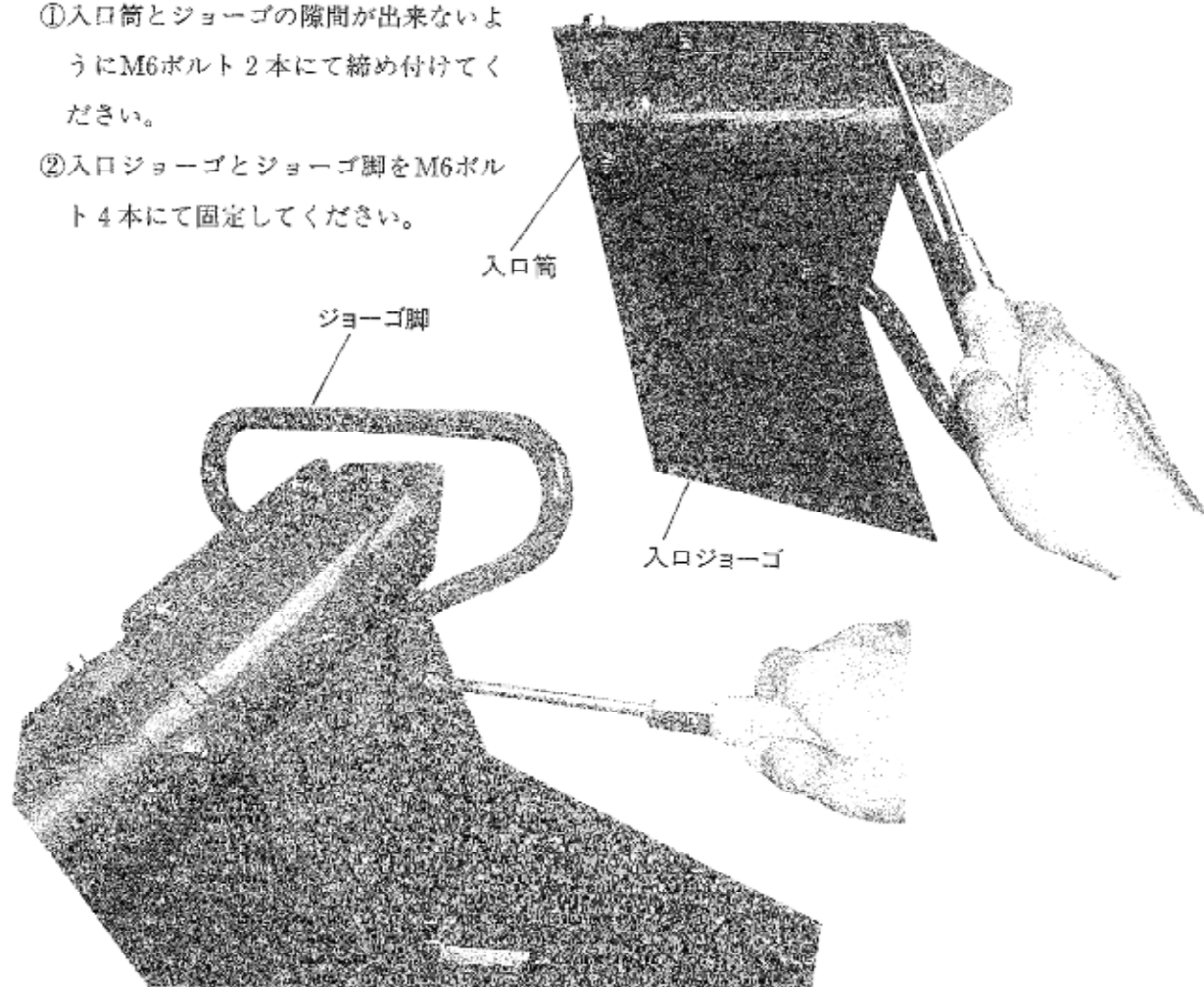
連結筒をホッパー取付板の穴部に合わせて取り付けてください。



お使いになる前に

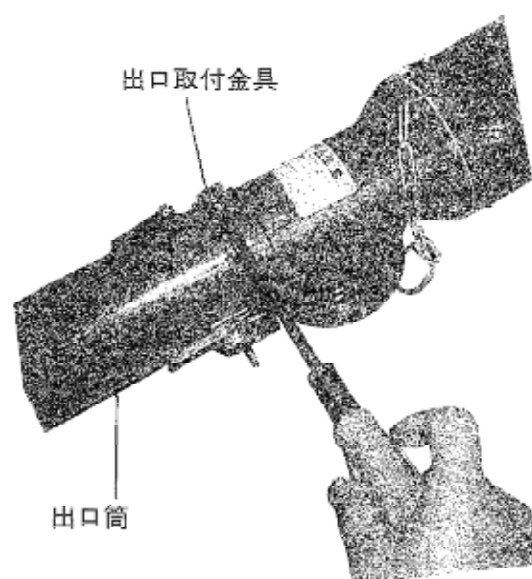
(4) 入口筒と、ジョーゴ、ジョーゴ脚の取り付け

- ① 入口筒とジョーゴの隙間が出来ないようにM6ボルト2本にて締め付けてください。
- ② 入口ジョーゴとジョーゴ脚をM6ボルト4本にて固定してください。



(5) 出口筒に出口取付金具の取り付け

- ① 出口筒に出口取付金具をM6ボルト、ナットにて固定してください。

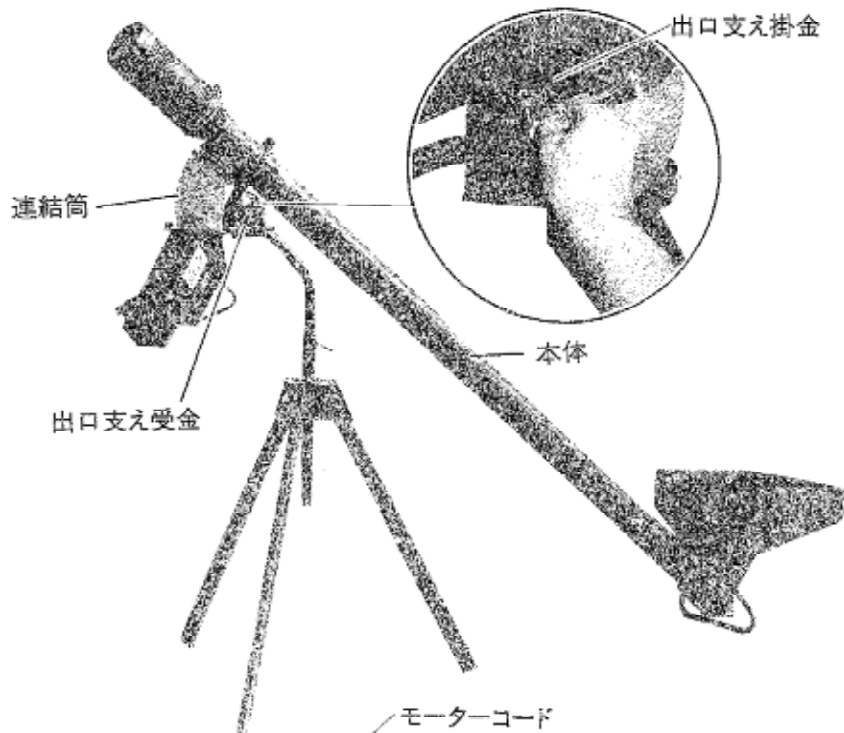


お使いになる前に

(6) 本体部の組立

本体先端の出口を連結筒と出口支え受金に乗せ、出口支え掛金(2個)で固定してください。

注意 転倒防止のため、モーターと3本の脚の内1本と上下で平行な位置に締め付けてください。

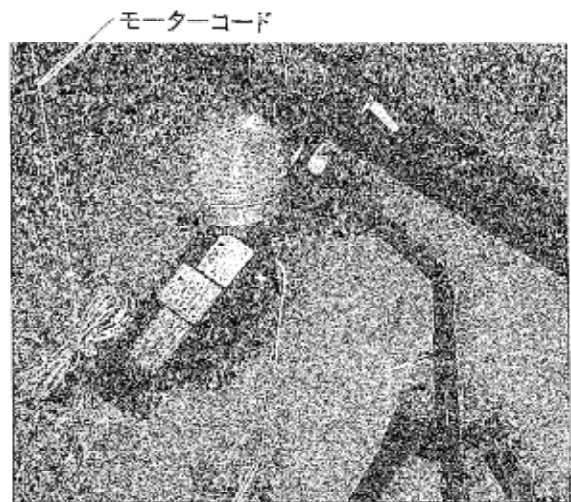


(7) コードの接続

△注意 電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。

モーターコードをスイッチボックスに、スイッチボックスコードを電源に接続してください。

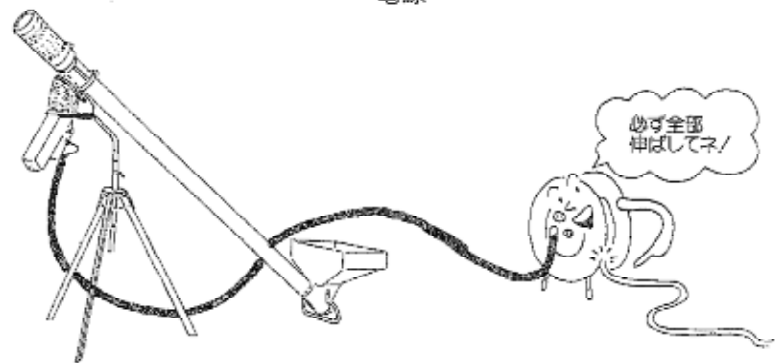
(注) 作業前に一度空運転をし、入ラセンの回転、異音、異常発熱の有無、オートホッパーの作動の確認をしてから作業にとりかかってください。



電源コード

電源コードは、延長コードを使用せずに、直接コンセントに接続してください。

やむえず、延長コードを使用する場合には、2mm以上の太いコードを使用し、出来るだけ短くしてください。



△注意 長いコードを使用すると、電圧低下をきたし、モーターの過負荷や誤動作の原因となります。コードリールを使用するときには、コードを巻いたままにしないで全部伸ばして使用してください。

作業のしかた

1. 作業のしかた

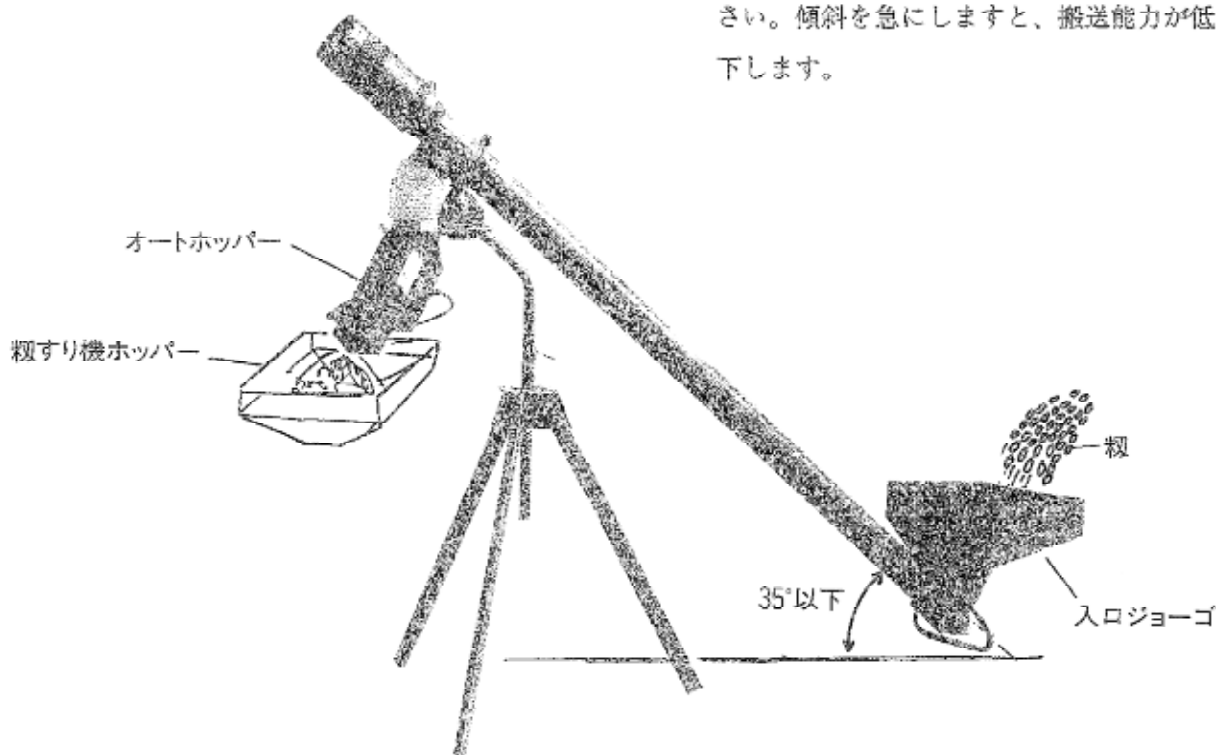
▲警告 運転中は、絶対に入口ジョーゴに手や指を入れないでください。ケガをするおそれがあります。

▲注意・電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。
・作業を中断したり、終了するときは、必ずスイッチを切り、差込プラグを抜いてください。

▲注意 オートホッパーの調節や脚の位置合わせをするとき、モーター部が重いため転倒しやすくなりますので、モーター部と脚をよく支えて行ってください。

① 粳すり機とセットして使用する場合は、オートホッパーの出口を極力粳すり機ホッパーの中央に近づくように、脚の位置・支持パイプの高さを調節し、セットしてください。

② 本体の傾斜角度は35°以下で使用してください。傾斜を急にしますと、搬送能力が低下します。



③ 空運転でモーターが正常に回転しているか確認してください。

④ 粳を供給し運転を開始します。

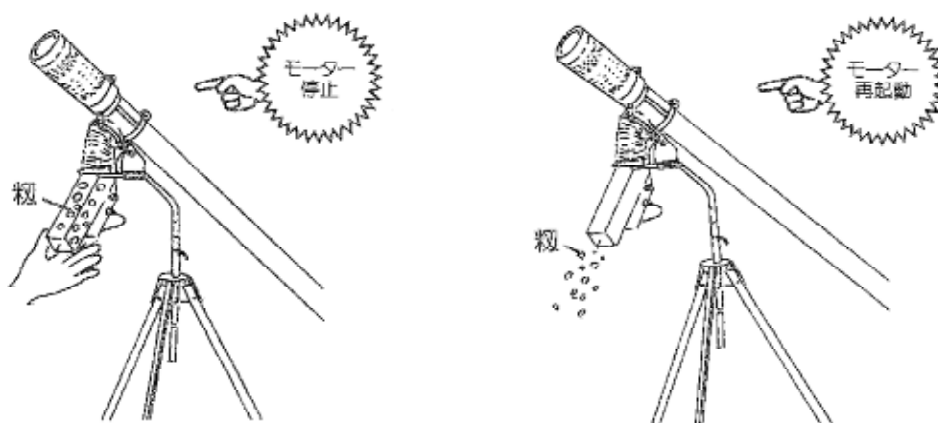
作業のしかた

2. 運 転

(1) オートホッパーの作動確認

- ・ 粃が粃すり機のジョーゴの中央に出るように、3脚の位置を調整してください。
- ・ オートホッパーの出口に手をあてて粃を詰め、モーターが自動停止するか。また手を離し詰まりがなくなりモーターが再起動するか確認します。

▲注意 モーターが停止と再起動をしないときはオートホッパーへ内蔵の圧力スイッチが故障ですので販売店へ連絡してください。



(2) 連続運転

各部の点検の結果が良ければ連続運転に入ります。

粃すり機の性能に合った粃搬送をするために運転中、次の点に注意をはらってください。

○ 粃の供給（搬送）量は適当か

- ・ 粃すり機が連続運転の状態ジョーゴに粃が切れることなく送られている状態が最良です。
- ・ 逆に満量状態でモーターが停止と再起動を頻繁に繰り返しているとき、またジョーゴに溜らずに流れこんでいる状態は搬送量が不適であり調節が必要です。

作業後の手入れについて

正しい手入れを行ってください。

1. 作業後の手入れ

▲警告・残粉を取り出すときは、必ずモーターを確実に停止させ、回転部が完全に止まってから行ってください。モーターが回転したまま作業を行うと、ケガをするおそれがあります。

- 残粉の取り出しかたは作業終了後、10～20秒間空運転を数回繰り返します。
- 各部のネジの緩みなどを点検してください。
- 格納時、入口(ジョーゴ)、出口部はネズミの進入防止の為、厚手のビニールで覆ってください。

2. 長時間使用しない場合の手入れ

長時間使用しない場合は、次の要領で格納してください。

- 格納場所は出来るだけ乾燥した場所を選んでください。
- ネズミの進入防止のため、ビニール袋などで入口をふさいでください。



定期の点検・調整について

▲警告・点検・整備をするときは、必ずモーターを確実に停止させ、回転部が止まってから行ってください。モーターが回転したまま作業を行うとケガをするおそれがあります。

○移送ラセンの点検

入口部はジョーゴ中をのぞき、出口部は連結筒を外しラセンヘワラクス巻きの巻きつきがないか点検してください。

不調診断

状 況	点 検 箇 所	処 置
モーターが回らない。	断線または、締付部が緩んでいませんか。	各接続部のビス類を確実に締め付けてください。また、コネクタ部を確実に差し込んでください。
	スイッチが故障している場合があります。	スイッチを交換してください。 (販売店にご相談ください。)
	オートカットが作動していませんか。 (とび出している)  正常時 ㊸  異常時 ㊹	ラセンに小石、木ざれ、乾燥ネットなどが入りモーターが過負荷状態になっています。電源コンセントを抜き原因を取り除いてからオートカットのボタンを押し込んでください。
モーターが再起動しない。	オートカットが作動していませんか。	〃
	圧力スイッチが故障している場合があります。	圧力スイッチを交換してください。 (販売店にご相談ください。)
自動停止が働かない	配線コードの接続方法が異っていませんか。	配線をやり直してください。
	圧力スイッチが故障している場合があります。	圧力スイッチを取り替えてください。 (販売店にご相談ください)
搬送量が減った	入口部にワラズ等がつかまっていませんか。	モーターを停止し電源コンセントを抜いてから取り除いてください。

製造販売元



株式会社

岡山農栄社

ホームページ <http://noeisha.co.jp>

本社	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
本社営業所	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
北海道営業所	〒078-8275 旭川市工業団地5条3-3-1	TEL (0166) 36-5115
東北営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町4-2-44	TEL (022) 232-5609
関東営業所	〒372-0023 群馬県伊勢崎市柏川町1616	TEL (0270) 21-8127
九州営業所	〒862-0911 熊本市東区健軍3-45-13	TEL (096) 368-7407

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			